



春の風が心地よく、爽やかな気分になれる5月、しかし、体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。規則正しい生活をして、元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう。 今月は、虫刺され、植物かぶれについてお知らせします。

虫刺され・植物かぶれ

虫刺されも、植物かぶれも、まずかか
ないことが大切です。

かいてしまうと傷から菌が入り悪化するこ
とや、とびひになることもあります。かき続
けることで治りも悪くなってしまいますので、
十分気をつけましょう



植物かぶれ



植物の中には発疹や水ほうなどを起こす
ものもあります。症状が出た場合、患部を触
って広がらないように衣服を着替えたり、患
部を流水で流し、かゆみ止めなどを塗りまし
ょう。水ほうは清潔なガーゼで覆いましょう。
患部が広がったりかゆみが治まらない場合
は受診しましょう

蚊

子どもの場合、蚊に刺される免疫が少な
いため、水ぶくれができることもあります。
刺されたら患部を洗い、30分以内に炎症を
取る薬を塗ると、症状が軽くて済みます。

毛虫

毛虫の毛が皮膚に刺さって炎症を起こした
場合は、患部にセロハンテープなどを貼って
はがすと毛が取れるため軽く済むことがありま
す。また直接接触なくても毛が皮膚に触るだけ
で強い皮膚炎を起こすこともあります。

ダニ

市販の虫刺され用の薬で効果があります。
人によってはアレルギーなどで、全身に発疹が
広がったり、ぜんそくや皮膚炎を引き起こす場
合もあるので、その場合は受診しましょう。

ムカデ・ハチ

刺されるとすぐに強い痛みが出ます。腫れ
が強い場合は受診しましょう。以前にも同じ
虫に刺されたことがあり、気分が悪い、息苦
しい場合にはアナフィキラーショックの可
能性があるので、早急に受診しましょう。

